

「長崎県松浦市生徒派遣」

8月8日（水）から8月11日（土）の日程で行われた交流では、福島中学校の生徒4名と引率2名で長崎県松浦市を訪れました。北海道から長崎県松浦市へは飛行機での移動となり、低気圧が近づく中、飛行機が欠航となる不安もありましたが、無事到着することができました。

福岡空港を出た瞬間、北海道との空気の違いを実感し、生徒も落ち着かない雰囲気、これからの交流を楽しみにしながら生徒交流が始まりました。



8月8日（水）は、松浦市に到着後、すぐに歓迎式を開いていただきました。松浦市教育委員会をはじめ、受入家庭の皆さんの歓迎の後、生徒はそのままホームステイでの受入となりました。民泊ということもあり、生徒の皆さんは緊張した表情でした。



しかし、2日目の朝には全員明るい顔をしており、話をきくと「地元のスーパーへ連れて行ってもらった」、「特産品を食べさせてもらった」等、すぐに受入家庭へ溶け込んでおり、とても安心しました。

8月9日（木）は、松浦市立今福中学校の平和学習に参加し、松浦市民の方から貴重な戦争体験のお話をきかせていただきました。海がない木曾町の生徒も一緒だったため、とても楽しかったです。



8月10日（金）は、松浦市の「鷹島」と「福島」での交流学習だったためバスでの移動が多かったのですが、交流も3日目となると、3市町の生徒がとても仲良くなっており、そのバスの中でさえも、交流の場となっていました。午前中は鷹島埋蔵文化財センターで「元寇」の遺物を見学し、午後からは福島に移動し、船でアジ釣りを体験しました。結果は大漁だったので、それぞれの受入家庭へ持ち帰り、名物であるアジフライ等にしていただいたそうです。

今回の交流事業は松浦市に3市町の生徒が集い、より充実した内容となりました。総勢20名での交流だったので、最後の記念撮影後もしばらくは連絡先の交換等、別れを惜しんでいました。

最後に、今回の交流事業では松浦市教育委員会の方々の温かいおもてなしや、熱中症予防の配慮等、とても感謝しております。交流に参加した生徒は、他市町の新たな友人や経験などを得ることが出来ました。

是非、今後も多くの生徒に参加していただきたいと思っています。

